

平成29年度第3回協議会  
議題説明資料

八街市地域公共交通協議会

## 目 次

- 議題 1号 平成 30 年度八街市地域公共交通協議会歳入歳出予算(案)について . . . 1
- 議題 2号 平成 30 年度八街市地域公共交通協議会事業計画(案)について . . . . . 3
- 報告 1号 バスの乗り方教室・バリアフリー教室の開催結果について . . . . . 5

議題番号	議題1号
議題名	平成30年度八街市地域公共交通協議会歳入歳出予算(案)について
議 題 の 説 明	
1. 予算規模	
<p>当初予算規模は40万円で、前年度当初予算と比べ9万4千円、19%の減と なっています。これは、平成29年度予算の執行残を年度内に精算すること に伴い、平成30年度予算に繰越をしないことが影響したものであり、その 他の予算の内容に変更はありません。</p>	
2. 歳入・歳出の状況	
(1)歳入合計 40万円	
1 款負担金 1 項負担金 1 目負担金 1 節市負担金 40万円	
「八街市と八街市地域公共交通協議会における負担金等に関する協定書」 第1条の規定に基づく八街市からの負担金です。	
(2)歳出合計 40万円	
1 款総務費 1 項総務費 1 目会議費 8 節報償費 34万円	
協議会委員に対する報償費です。1回あたり5000円の報償費68人分です。	
1 款総務費 1 項総務費 1 目会議費 1 2 節役務費 4万4千円	
報償費等の銀行振込に要する支払手数料です。	
1 款総務費 1 項総務費 2 目事務局費 1 1 節需要費 1万5千円	
協議会運営に要する消耗品費です。	
2 款予備費 1 項予備費 1 目予備費 1 節予備費 1千円	

※図表や参考資料等ある場合は別に添付してください

平成30年度八街市地域公共交通協議会歳入歳出予算（案）

歳入

（単位：千円）

款	項	目	前年度 当初 予算額	予算額	節		説明
					区分	金額	
1. 負担金	1. 負担金	1. 負担金	400	400	1 市負担金	400	市負担金 400
2. 繰越金	1. 繰越金	1. 繰越金	94	0	1 繰越金	0	0
計			494	400		400	

歳出

（単位：千円）

款	項	目	前年度 当初 予算額	予算額	節		説明
					区分	金額	
1. 総務費	1. 総務費	1. 会議費	384	384	8 報償費	340	協議会委員報償 340
					12 役務費	44	振込依頼手数料 44
		2. 事務局費			15	15	11 需用費
2. 予備費	1. 予備費	1. 予備費	1	1	1 予備費	1	予備費 1
3. 償還金	1. 償還金	1. 償還金	94	0	1 返戻金	0	
計			494	400		400	



議題番号	議題2号
議題名	平成30年度八街市地域公共交通協議会事業計画(案)について
議 題 の 説 明	
1. 主な事業	
(1) 八街市地域公共交通協議会の開催	
3回程度の開催を予定	
(2) 八街市地域公共交通網計画・八街市地域公共交通再編実施計画の掲載事業の進捗状況確認及び事業評価	
【具体的事業】	
・ふれあいバス乗降調査	
・高齢者外出支援タクシー利用助成事業アンケート	
・バスの乗り方・交通バリアフリー教室	
・ふれあいバス日曜日臨時運行(2日間)	
(3) 八街市地域内フィーダー系統確保維持改善計画の策定及び事業評価	
【地域公共交通確保維持改善事業により運行を確保・維持する運行系統】	
ふれあいバス 北コース 朝便・1便～7便・夕便	
ふれあいバス 東コース 1便～7便・夕便	
ふれあいバス 西コース 朝便・1便～6便・夕便	

※図表や参考資料等ある場合は別に添付してください

平成30年度八街市地域公共交通協議会事業計画（案）

平成30年4月	高齢者外出支援タクシー利用助成事業アンケート調査
5月	ふれあいバス乗降調査
6月	
7月	第1回協議会の開催
8月	
9月	
10月	バスの乗り方・交通バリアフリー教室の開催
11月	ふれあいバス日曜日臨時運行（2回）
12月	第2回協議会の開催
平成31年1月	
2月	
3月	第3回協議会の開催

【 協議会における協議内容 】

- ・八街市地域公共交通網形成計画・八街市地域公共交通再編実施計画の掲載事業について協議及び事業評価を実施する。
- ・八街市地域内フィーダー系統確保維持改善計画の策定及び事業評価を実施する。

※軽微な事項や緊急の決定を要する場合には書面による開催を行う場合がある。

【 随 時 】

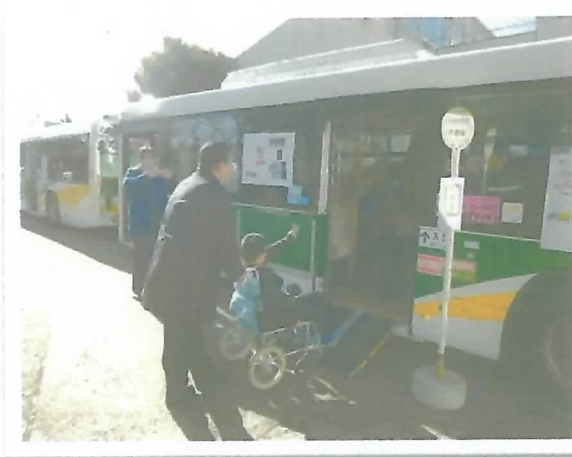
市広報紙や市ホームページを活用した公共交通の利用促進を実施する。



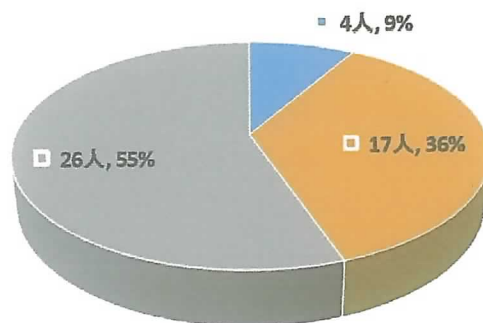
## 「バスの乗り方・交通バリアフリー教室」アンケート結果

- 開催日 平成30年1月26日（金）
- 対象 八街市立川上小学校4年生 参加者総数47名 ・ アンケート総数47名

### ◇ バスの乗り方教室について



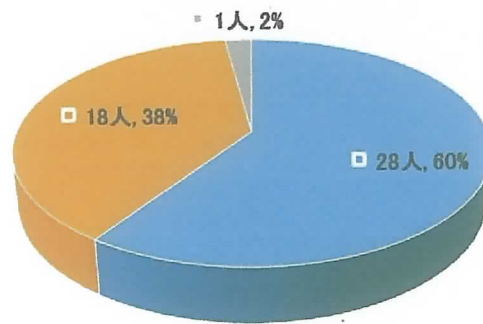
1 今までふれあいバスや路線バスに乗ったことはありますか。



■ 良く乗ります ■ ときどき乗ります ■ 乗ったことはありません

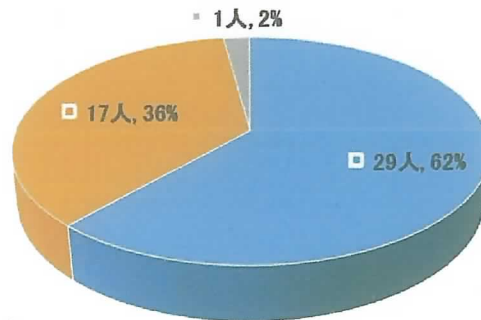


2 バス停でのバスの待ち方、時刻表の見方は分かりましたか。



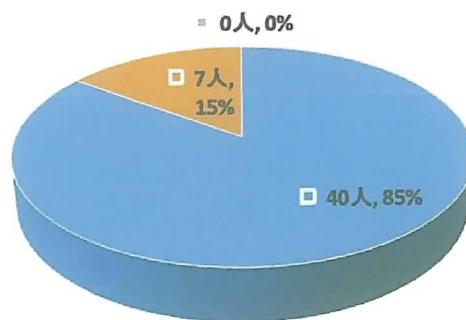
■ 良く分かりました ■ 分かりました ■ 分かりませんでした

3 バスの行き先表示の見方は分かりましたか。



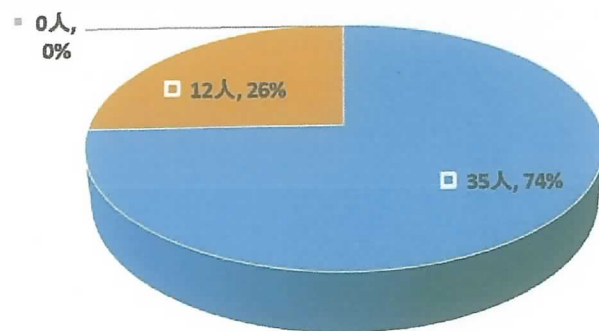
■ 良く分かりました ■ 分かりました ■ 分かりませんでした

4 バス内での座り方、立ち方など安全な乗り方は分かりましたか。



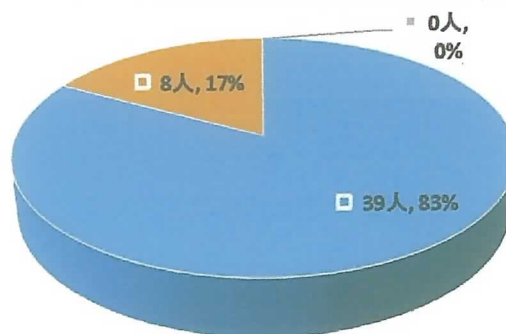
■ 良く分かりました ■ 分かりました ■ 分かりませんでした

5 運賃の見方、支払方法は分かりましたか。



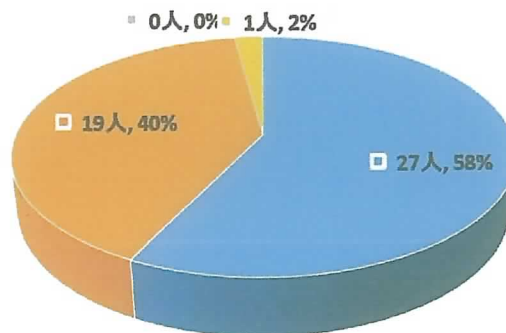
■ 良く分かりました ■ 分かりました ■ 分かりませんでした

6 バスを降りる時のブザーの使い方は分かりましたか。



■ 良く分かりました ■ 分かりました ■ 分かりませんでした

7 今後、バスを利用したいと思いませんか。

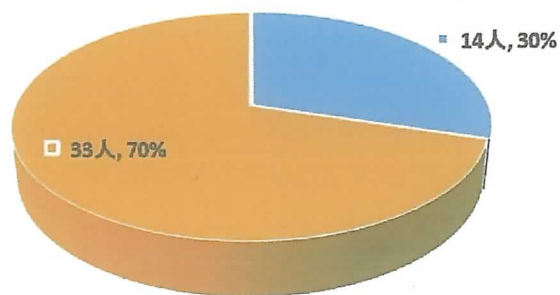


■ 利用します ■ 少し利用します ■ 利用しません ■ 無回答

◇ 交通バリアフリー教室について



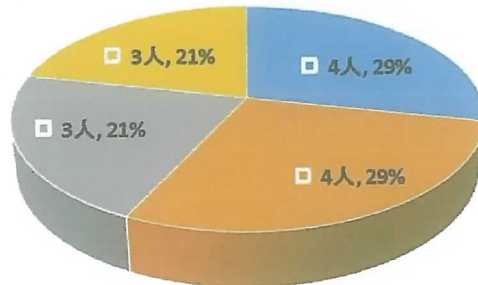
8 「バリアフリー」という言葉を知っていましたか。



■ 知っていた ■ 今日、初めて知った

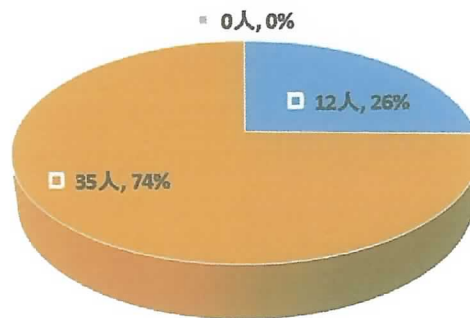


9 8で「①知っていた。」と答えた人に質問です。  
 バリアフリーという言葉は、何で知りましたか。



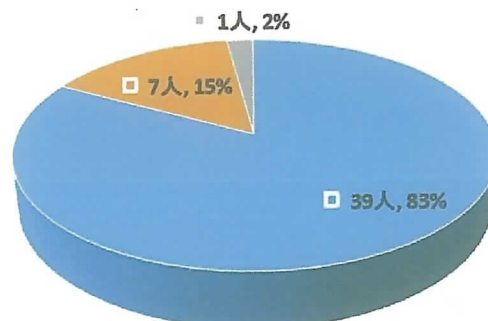
■ テレビ、新聞、雑誌 ■ 両親から ■ 友達から ■ その他

10 今まで、車いす利用者の方のお手伝いをしたことがありますか。



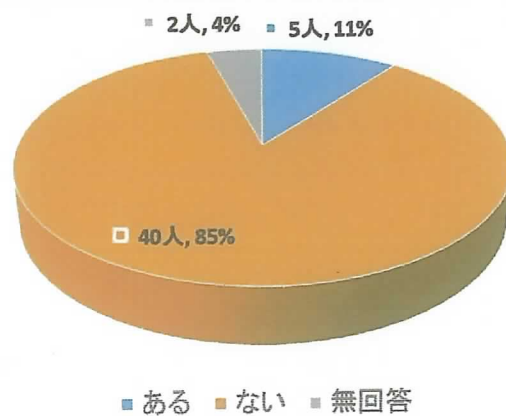
■ ある ■ ない ■ 分かりませんでした

11 車いす利用者の方のお手伝いの方法はわかりましたか。

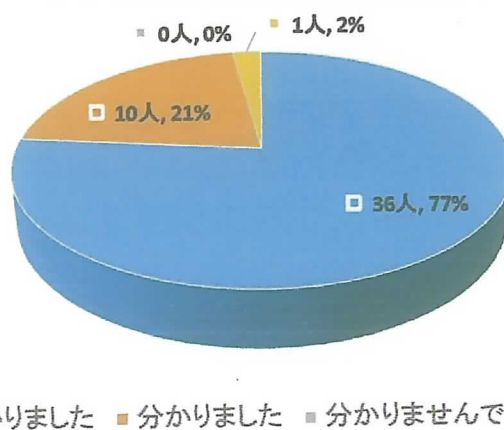


■ 良く分かりました ■ 分かりました ■ 分かりませんでした

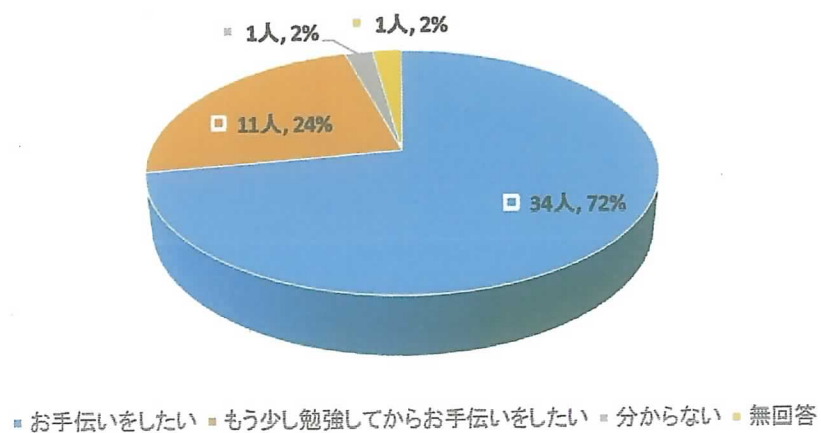
12 今まで、目のご不自由な方（視覚障がい者）のお手伝いをしたことがありますか。



13 目のご不自由な方（視覚障がい者）のお手伝いの方法はわかりましたか。

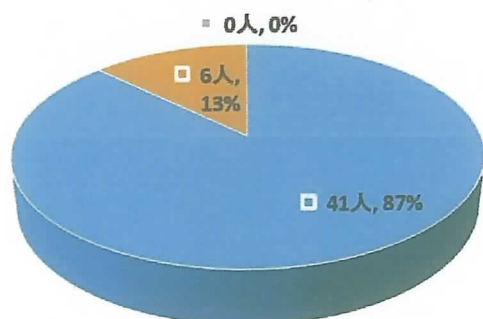


14 身近に、車いすを使っている人、目の不自由な人がいたら、今回のようなお手伝いをしたいと思いませんか。



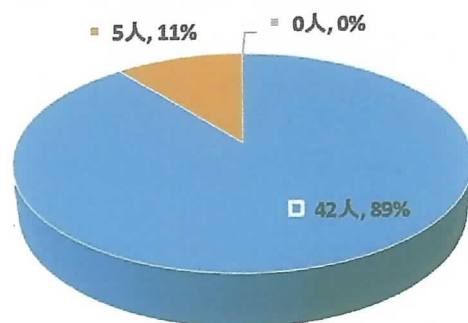
15 バスの乗り方・交通バリアフリー教室はどうでしたか。

◇バスの乗り方教室



■ 大変良かった ■ 良かった ■ 悪かった

◇交通バリアフリー教室



■ 大変良かった ■ 良かった ■ 悪かった



◇ バスの乗り方・交通バリアフリー教室の感想

- ・バスでお年寄りの人や小さい子、体の不自由な人に席をゆずりたいと思います。
- ・今日習ったことをいかして、がんばりたいと思いました。
- ・ぼくはバスの乗り方はそこまでは知らなかったけど、今日の交通バリアフリー教室でもっと知れてうれしかったです。これからもルールを守り、目の不自由な人や車いすに乗っている人がいたら、手伝いをしたいなあと思いました。
- ・バスの乗り方・交通バリアフリーがよくわかったので、これからやっていきたいと思いました。
- ・バスに乗っていたら、車いすの人がいたらゆずってあげたいです。
- ・バスの乗り方のことがとてもわかりました。そして、バリアフリーの車いすは階段の上り方がよくわかりました。これからもこのことをいかしていきたいです。
- ・バスの乗り方は知らなかったのですが、今後使うときにはバスのマナーを守りたいです。バリアフリー教室では、手伝い方法がわかったので身近な人を手伝いたいです。
- ・バスにはいろいろな工夫がされているんだなと思いました。
- ・目が見えない人は苦労していることがわかりました。車いすの乗り方や手伝いなどがよくわかった。バスの乗り方がよくわかった。
- ・目の不自由な方は、とっても苦労をして生活していることがわかりました。車いすは、自分でやると、とってもむずかしいことがわかりました。バスの乗り方がわかっていなかったです。優先席で席をゆずってあげたいです。体の不自由な人のことを手伝ってあげたいと思いました。いろいろなことが知れて良かったです。
- ・バスは行き先を聞いてから乗ったり、整理券を取ってから乗ったりすることがわかりました。交通バリアフリー教室では、目の不自由な人や車いすの人を手伝いをしたいと思いました。
- ・車いすは操作が難しいと思いました。目の不自由な人は、いつもとてもこわいんだなと思いました。バスは知らないことがたくさん知れました。
- ・バスの乗り方教室でお金を払うやり方や利用するやり方がとてもよくわかった。
- ・バスは人が乗りやすいように工夫していることがわかりました。これからはお年寄りや障害がある人に席をゆずりたいです。
- ・これからは障害者の人に席をゆずりたいと思いました。
- ・バスに乗ったときの座り方や立ち方と運賃の払い方がわかってよかったです。今度乗るときに役立てたいです。
- ・交通バリアフリー教室すごいな~と思った。





- ・ 目の不自由な人を見つけたら、すぐに声をかけてお手伝いをしたいと思いました。
- ・ 困っている人や不自由な人がいたら優しく声をかけて、もし間違っていたら優しく間違えていますと言って、間違っていなかったら優しく手伝ってあげる。
- ・ 車イスに乗って、足の不自由な人でも安全に移動できることを知りました。
- ・ 目の不自由な人、足の不自由な人がどんな気持ちで生活をしているのかがわかりました。
- ・ 目の不自由な方やケガをしている人が困っていたら助けたいと思いました。
- ・ 目の不自由な人や車イスを利用する人などの体験、そしてお手伝いのやり方は今までは何となくしか知りませんでした。でも、今回この機会に楽しく学べたので良かったです。
- ・ 目の不自由な人、車イスを利用している人を見かけたら、「何かお手伝いしましょうか」と聞きたいと思いました。
- ・ 目の不自由な方や車イスに乗っている人にお手伝いやイスをゆずってあげたりなど、これからしていきたいなと思いました。
- ・ 視覚障害体験で目が見えないので、少しこわかったです。だけど目の不自由な人は毎日見えないのにできていて、すごいと思いました。
- ・ 車イスの押し方や目が見えない人のお世話の仕方がよくわかりました。
- ・ 目の不自由な人がいたら手伝ってあげたいと思いました。車イスの人は押してもらわなきゃ大変なんだなと思いました。
- ・ 目の不自由な人が使う白杖の使い方が良くわかりました。
- ・ 交通バリアフリー教室で、目の見えない方はこんなに大変なんだと思いました。なぜなら、目が見えないから、耳を頼りにして生活しているからです。
- ・ 車イスに乗っている人を押すとき、どうしていいか今までわからなかったけど、今日教えてもらったので、できるようになりました。目の不自由な人はとても怖い思いをしていることがわかりました。
- ・ 目の不自由な人や車イスに乗っている人はとても大変なんだと思いました。わかりやすく勉強になりました。知らないことがいっぱい知れて良かったです。
- ・ 目の不自由な人や杖を持った人などがすごく苦労しているなと思いました。もし、目の不自由な人がいたら助けようと思います。
- ・ 今まで車イスの手伝いをしたことがなかったけど、今日バリアフリーを受けて思いました。1人のときは大変なんだなと思いました。これからは車イスの人がいたら手伝いたいです。
- ・ 障害物にぶつからないように行くのが、すごく難しかったです。なので、もしどこかで目の不自由な人がいたら助けたいと思いました。
- ・ 目の不自由な人は毎日大変と今日の体験でよくわかりました。



# ちいぎ新聞

2018年2月16日号  
富里・八街版  
発行部数20,401部  
VOL.1019 全57版  
編集行部数2,137,274部

ちいぎ新聞に関するご意見・ご要望・お問い合わせは 読者サポート 0120-152-337 受付 平日10:00~18:00 土日祝日休み tomichiiki@chiknews.co.jp

**今週の見どころ**

- ☆盲後バイブル
- ☆情報満載「イベント情報」
- ☆読者投稿 ちいカフェ
- ☆第63回 成田の梅まつり

ママ編集者がつくる  
明日が楽しくなるサイト  
ちいぎ新聞web  
https://press.chiicomi.com  
ちいぎ新聞web (検索)

日本ABC協会加盟紙



段差が難所の車いす体験



視覚障がい、疑似体験では笑顔も見られた

## バスをもっと身近に 乗り方教室

1月26日川上小学校の駐車場と体育館を利用して行われた体験教室に4年生2クラス、46人が参加した。

駐車場では旧型新型のバス2台を使用し、ちいファミリーバス運輸部長の今井さんが講師となり、バスに乗り込んだ児童たちに大きな声で整理券の使い方、運賃の確認方法などを説明。普段バスに乗り慣れない児童たちは真剣に耳を傾けていた。

## 小学生が体験! バスの乗り方・ 交通バリアフリー教室

### 交通バリアフリーを 考える授業

体育館では視覚障がい、疑似体験が行われ、視覚障がいのある折口久代さんとガイド

車内では高齢者の見え方を再現するゴーグルが配られ着用。今井さんは、新型バスは柱がオレンジ色で高齢者に見やすい配慮がされていることを説明すると、ゴーグルを着けた児童たちはこんなに見えないんだ！でも柱は見える！と口々に感想を言い合っていた。

2020年東京オリンピック・パラリンピックを見据え、子どもたちにもバリアフリーについて考えてもらおうため、八街市立川上小学校で体験教室が開催された。



バスの乗り方教室の様子

ドヘルパーの佐伯めぐみさんが講師を務めた。体験ではアイマスクを着けて白杖を持ち歩く人と支えるガイド役の2人1組で実施。段差やポール、くぐる場所、狭い場所、階段が設置された道をガイド役が体験者に声を掛けながらゴールまで歩いた。体験を終えた4年2組の上田愛莉奈さんは「楽しかったけど落ちこぼれにならなうとほにかみながら話してくれました。折口さんは原車たちに「白杖を持って困っている人がいたら、声を掛けてください」と語り掛けた。

また、車いす利用体

験も実施。車いすに乗る人、押す人を体験し、高齢者や障がい者の走行時の不安を知った児童たちは「車いすでは段差が上れないから助けてあげたい」と力強く話し、観察を見せた。

現在、4年生のクラスでは、国語の授業の中で福祉の内容を取り上げているという。4年1組担任の篠原英治教諭はこのような体験は、教科書やインターネットで調べ、教室の中では学べない子どもたちにとっていい機会になりましたと話した。

(A・I)



会津さくら(後列法)と4年2組の児童で記念写真



(第3種郵便物認可)

# バリアフリー体験し学ぶ



車いすや白杖を乗るの感ある体験をする児童

## 車いすや白杖 障害者ら解説

八街市立川上小学校(同市大谷流)で先月、バリアフリーなどについて学ぶ体験教室があり、4年生46人が参加した。2020年東京パラリンピックに向け、早い段階から障害について理解してもらおうと、国土交通省が全国各地の自治体と連携して実施しており、この日は地元社会福祉協議会や地域包括支援センターの職員らが講師を務めた。【町野幸】

### 八街・川上小4年生

児童たちは2人1組に輪を浮かせる「ウイリー」になって車いすを利用するなどを学んだ。一苦労す立場と、押す立場双方を児童もおり、講師は「大体験。体育館の床に置き、きく持ち上げすぎない」「たロープをまたぎ少しの」というコツを伝授。口癖「段差でも揺れることや、碧さんは「押すのが思っ段差を乗り越える際に前」たより大変だった」と話

### 教育ちば



白杖を手に、視覚障害者疑似体験をする児童—いずれも八街市大谷流の川上小学校で

視覚障害者の疑似体験 高藤拓未さんは「(周では、目が不自由な折口 困が)見えなくて不安 久代さん(74)「同市」で、障害物を避けるのが その介助者が講師を務 難しかった。(今後は) めた。折口さんは目しろ 困っている人に声をかけ 使っている白杖につい られそう」と感想を話し て「目が不自由な人が使 う世界共通の物」「持ち 浅沼浩教頭は「障害の ある当事者に直接教えて 上げていたら『助けてく もらい、非常にいい機会 ださい』のサイン」など になった。子供のうちか と解説。その後児童たち ら障害者と触れ合うこと は2人1組となって、1 はアイマスクをつけて は、差別や偏見をなくす 白杖を持ち、もう1人は ことにもつながると思 介助者となって階段や う」と語った。